

原子力政策大綱に示しているエネルギー利用に関する
取組の基本的考え方の評価について

平成21年7月21日
原子力委員会決定

原子力委員会は、本日、政策評価部会から「原子力政策大綱に示しているエネルギー利用に関する取組の基本的考え方の評価について」と題する報告書を受領した。同部会は、政策評価部会が「原子力政策大綱」第3章3-1「エネルギー利用」に示された基本的考え方を尊重して行われている関係行政機関等の取組について関係行政機関等からヒアリングを行うとともに、この分野の当面の重要課題について国民や有識者の意見を聴き、それらを踏まえてこの基本的考え方の妥当性の評価を行っている。その結果、原子力政策大綱に示された原子力のエネルギー利用に関する取組の基本的考え方は引き続き尊重されるべきとした上で、原子力政策大綱の策定後に生まれた新しい知見や内外の状況の変化を踏まえて、関係行政機関等への提言を取りまとめている。

当委員会は同報告書の内容は妥当と判断し、関係行政機関等には、エネルギー利用に関する取組を、原子力政策大綱に示した基本的考え方および同報告書の提言を尊重して推進することを求める。

なお、当委員会は、関係行政機関等が本報告書の提言も踏まえて原子力のエネルギー利用に関する取組を適切に進めているかどうかについて、今後とも確認していく。

以上